

議会だより



第43回9月定例議会が召集され、18日・19日の2日間開催されました。

執行部より、承認案1件・平成21年度補正予算案7件・条例制定案1件・条例改正案1件・道路線認定・廃止案各1件・平成20年度決算認定8件・報告1件・同意1件・陳情2件が上程されました。また、一般質問では3名の議員が9項目について質問を行いました。

○地域情報通信基盤整備推進交付金事業として、町内全世帯と希望する事業所に「光ファイバー」を敷設し、行政情報や防災情報など、町から住民へ、住民から町への双方向の情報提供を可能とする経費として、8億1千万円計上。

○ユビキタスタウン構想推進事業として、地方公共団体のICT導入に係る取組みを支援する。既存のICT環境を活用しながら高度ICT人材の育成、情報拠点の拡充を図り、地域の写真のデジタル化及び高画質映像コンテンツの配信を行う事業、2、905万7千円計上。

○海土地域耕作放棄地対策 国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用した県の基金事業によって、耕作放棄地を再生し、就業機会を創出する対策や重機を用いて荒廃農地を再生利用活動を推進する活動で事業費200万円の内町負担分50万円。今年度は二カ所の農地を再生。

○一般財源の町税の個人住民税は、給与所得、営業所得ともに当初予算見積もりを下回ったため、427万6千円減額し、固定資産税は、今年が評価替えの初年度であるが、見込み額より下回ったため、95万5千円減額。

今回の9月補正予算額は、「光ファイバー」を設置する事業、地域情報通信基盤整備推進交付金事業の割合が大きいくその他の新規事業はあるが、財源的には、国や県の補助金で事業費の94%を占めている。しかし1、641万1千円の一般財源の持ち出しがあり、且つ、町税を減額する補正があつたため、財政調整基金を1、871万1千円を切り崩す補正予算となつている。

特別会計については、国保特別会計で、72万8千円、診療施設特別会計、290万3千円、簡易水道特別会計、783万1千円、老人保健特別会計、7万円、下水道特別会計、11万7千円、後期高齢者医療特別会計、16万8千円をそれぞれ追加補正する。

条例改正 条例制定は、海士町社会福祉法人の助成に関する条例が未制定であつたための制定。条例改正は、海士町消防団員等公務災害補償条例の一部改定。また、町道諏訪新開線付け替え工事に伴い、認定・廃止の件。

「監査委員報告」 平成20年度海士町財政健全化判断比率が報告されました。

「実質公債費比率」21・6%で早期健全化基準25%を、「将来負担比率」231・6%で早期健全化基準350%をそれぞれクリアしています。

平成20年度決算審査意見書・普通会計財政健全化審査

意見書・簡易水道会計経営及び下水道会計経営健全化審査意見書、以上の承認一件・議案11件・認定8件・報告1件・同意1件・陳情2件が上程され、一般質問終了後本会議を閉じて各常任委員会審議に移行し、各常任委員会において慎重審議を行い再開された本会議において、承認1件・補正予算案11件・報告1件・同意1件を全会一致で可決承認されました。認定8件の平成20年度決算認定については各常任委員会の議会閉会中の継続審議として、9月定例議会を閉会しました。

陳情の審議結果 (採 択) 「隠岐建設工業(有)の廃業に伴う海士町の雇用支援に関する陳情」

・提言者(株) トランジット 代表取締役 下野 裕

「後期高齢者医療制度をめぐる陳情」

・陳情者 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵栄助

町政に問う 一般質問



上田正子 議員

後鳥羽会への対応は

問 上田議員

平成16年第40回近畿海士後鳥羽会総会に郷土芸能の披露と出郷者との交流親睦を深めるために参加した北分婦人会一行は、参加費を一部負担しました。今回45周年総会に菱浦すみれ会が上阪するがその費用は全額公費負担である。この違いはどうしてか、また、今後の派遣の考え方は如何か。

答 町長

平成16年は地財ショックによる危機的な状況にあり、生き残りをかけた自立促進プランを作成した年であった。この年、近畿海士後鳥羽会会長に北分出身の石田信行さんが就任され、そのお祝いを兼ねて北分婦人会からの参加希望があり厳しい財政事情を考慮

して自主的な経費の一部負担となった。以後、財政状況は立て直しつつあり、19年関東海士後鳥羽会に上京した西地区は町が実費負担をした。今後についても後鳥羽会参加の経費については基本的には全額公費負担で行う。

レインボービーチの整備を!

問 上田議員

平成15年度から22年度まで8年間の期間に総額9億8、200万円の巨費を投じて先灘地区港湾環境整備事業が実施されている。今年完成したレインボービーチは、立地条件に恵まれ、町民や帰省客、観光客等にも利用され、交流促進と活性化対策に寄与するものと期待されている。今年

答 町長

は天候不順で利用状況は充分とはいえなかつたが、利用者から飲み物の販売施設がなく大変不便との声が多かつた。管理面での徹底を配慮した上で飲食関係の設備を整備する考えはないか。

海水浴場で利用客にとって

来年の町長選挙へ 続投の考えは

問 上田議員

山内町長は就任後7年余りが経過して町政の経営指針の元に、町の行財政改革、地域振興への取り組みは着実に進展しているが諸施策が十分に軌道に乗り安定した状態にあるとは言えない。任期8ヶ月を残して時期早尚かも知れないが来期へ向けた町長の思いを伺いたい。

答 町長

今のところ熟慮の時間がほしい。周囲の状況に左右されるのではなく自身が決めるべきであると考えている。確かに明日へ向かうには道半ば、引くに引けない心境である。しかるべき時期がきたら進退を表明したい。

鳩山新政権と どう向き合うのか



波多紀昭 議員

問 波多議員

先の総選挙では、自民、民主の2大政党が政権の継続か或いは政権交代かというまさに政権担当の命運を賭けた初の選挙選択という天下分け目の選挙であったわけだが、民主の地滑りの圧勝に終わった。

答 町長

そこでこの政権交代によって、日本の統治システムがどのように変わるのか。中央政府と地方との関係、スタンスをどのように見ておられるか。

的な実施の方法、時期や財源の手当の仕方などはこれからだし、その動向をよく把握し、新しい状況に適切に対応していく考えだ。今までも地方に配慮した政策を具体的かつ積極的に国政の場に反映してきた経緯をふまえ、揺るぎない体制の中で汗をかいて行く覚悟で町政の進展を図って参りたい。

公共施設配置計画は 立っているのか

問 波多議員

公共施設の整備に当たっては、既存施設の有効利用に努めたり、今後は、第4次総振に沿って実施することが基本だが、とかく施設ごとの事情や現状に対応するという目の前の対応しか検討されない傾向がありはしないか。町全体を見渡した総合的視点からの公共機能をどう配置するかを考えるべきでは。

答 町長

施設整備は、総振に沿ったものであり、配置については地域の特性なり利用目的等総合的な判断をしながら、議会

にも諮りながら進めてきたところだ。今後は既存施設間の連携や機能分担或いは施設統合等について検討を進めたい。

**(株)ふるさと海士の
欠損金解消策は**

問 波多議員

創業5年目の3月末の第5期決算書から、毎期連続の欠損金累増の現状をどう認識しているのか。さらに雪だるま式にふくらんでいくことが予想されるが、欠損金の処理についてどのような対策なり解決策を持つか。そして、今後欠損金を出さないための経営方策の具体策を承知したい。

答 町 長

トータルで答える。CASの性能等について、漸く国も国内市場も理解が進んだもののまだ全体的な使い方になっていないのが現状だ。主力の水産物から農産物まで事業拡大に向けた商品開発も進んでおり、活かし方次第で業容は変わると見ている。一方批判もあることも承知しているが「今は成果を急ぐな」と理解を求めたい。



花岡美近 議員

いそかぜⅡの菱浦乗降場の改善は

問 花岡議員

この件について、平成15年から再三にわたり質問してきたが現在まで整備されていない、専用岸壁を整備する方向で関係機関と協議するとしていたが、その後の取り組みを伺いたい。

答 町 長

大変時間がたっており申しわけなく思っている。県に要望しているが係船岸壁の充足率の件で新たな岸壁の整備は困難であるとのこと。いずれにしても即解決に繋がる手段を見い出していかない状況である。いそかぜⅡの専用岸壁を整備する方向で、10月にも県に強力な陳情をかけるようにしているところである。

八雲広場の整備変更は

当初計画と大幅な設計変更がなされているトイレと倉庫について、位置もさることながら建物の面積や間取りも全く違っている。議会に協議がないのはどうしたことか。

答 町 長

今回は大変申しわけなく思っている。トイレの位置の変更あるいは内訳等の変更については、隣の方の要望等もありトイレとギャラリーの位置を変えたというのが実態である。トイレの変更については、当初予定していた額を上回ったため多目的トイレとしたところである。また、倉庫の変更については、道路植栽等の管理、八雲広場の植栽除草等について菱浦区民の奉仕をお願いすることになった。そのため清掃道具スペースを確保するための変更である。議会において、毎月全員協議会を開催しておられるので、こういうことのないよう事前に説明していきたいと思う。

海士町サポートセンターとは

問 花岡議員

この事業は、高齢者の生活をサポートすることが目的で全額補助事業であるにもかかわらず少し料金が高いような気がする。まず、設立の経緯、役員の選出および作業内容について、また、料金の設定について伺いたい。

答 町 長

この団体は任意団体として設立され昨年2月に初会を開き、1年6ヶ月の協議を重ねてきたようだ。役員選出の件については任意団体であるので答弁は控えたい。料金については、将来は自立したシルバー人材センターとしてやっていくためには、補助事業終了後も引き続き活動ができるよう見据えた料金設定がなされているようだ。作業内容については、高齢者が本町で生活される中で不便を感じる、あるいは手の届かないことのお手伝いをさせていただくことになっている。

隠岐広域連合議会報告

波多紀昭

寺下雅人

第3回定例会を9月10日に開催した。

議長の諸般の報告で、隠岐広域連合議員に島根県議会から小沢秀多議員が新たに選出された議員異動報告と9月9日の救急の日に、消防本部で高規格救急車（島前分署に配備）をアステラス製薬（株）から寄贈を受けたとの報告があった。一般質問では、介護保険事業の構成団体負担金について、保険給付費の実績を反映した負担方法の廃止を求める質問であったが、給付費実績による負担割合の廃止や単独運営については考えていない答弁であった。また、消防職員の特地勤務手当の復元を検討するとし、新隠岐病院の基本計画では、敷地や予算など限られた条件下だが、地域住民が安心して医療を受けられる病院を目指し、設計業務を進めていくとの説明であった。



